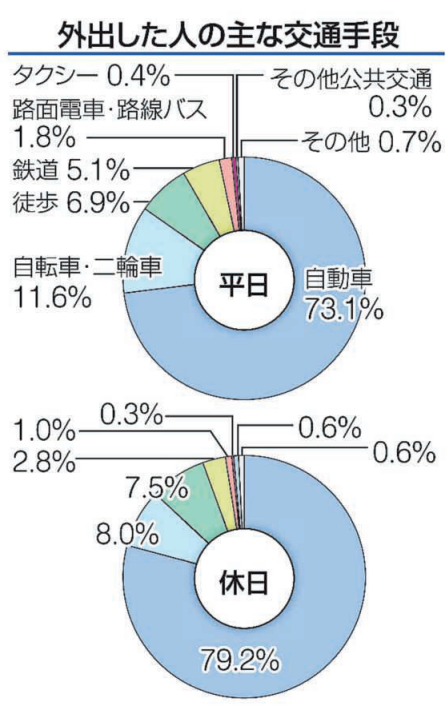


# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山県は公共交通の利用実態について調査をしました。記事を読み質問に答えましょう。

## マイカー移動7割超



一方、公共交通の利用割合は平日が7.7%。内訳は鉄道5.1%、路面電車・路線バス1.8%。休日は4.7%。

県が県内全域を対象にしたPT調査を実施したのは初めて。無作為抽出し6万8千世帯に調査票を郵送し、昨年10月の平日（水曜）と休日（日曜）の行動を尋ねた。21.5%に当たる1万4631世帯（2万7395人）から回答があった。

外出した人の主な交通手段は、平日が自動車の73.1%、自転車・二輪車の11.6%、徒歩の6.9%の順。休日は79.2%とさらに自動車の割合が高く、自転車・二輪車8.0%、徒歩7.5%と続いた。

県はより詳細な調査報告書を5月にまとめる予定で、2023年度中に地域別の状況やニーズの分析を進める。県内ではJRの赤字ローカル線の存廃問題が浮上しており、県民生活交通課は「公共交通の改善点を把握した上で、実効性のある利用促進策を検討したい」としている。

岡山県は県内の公共交通の利用実態を把握する「パーソントリップ（PT）調査」の結果（速報）をまとめた。車が主な交通手段の人は平日、休日とも7割以上を占め、マイカーに依存した交通体系が浮き彫りとなった。今後、地域ごとの傾向を含めた詳細データの分析を進めた上で市町村や交通事業者に提供し、乗り換え時の待ち時間解消といった利用促進策に役立ててもらう。（岡亮佑）

県が県内全域を対象にしたPT調査を実施したのは初めて。無作為抽出し6万8千世帯に調査票を郵送し、昨年10月の平日（水曜）と休日（日曜）の行動を尋ねた。21.5%に当たる1万4631世帯（2万7395人）から回答があった。

一方、自動車の運転免許を所有しているかどうかで比較すると、24歳までは平日の外出率に大きな差は見られないが、25歳以上で顕著に現れ、45〜49歳は37.8%差に広がり、現役世代のマイカー依存が裏付けられた格好。

### 県内交通手段実態調査

鉄道や路面電車・バス 平日7.7%、休日4.7%

2023年4月27日付山陽新聞、全県版

**Q1** 皆さんが休日に家族と出かける時、どんな交通手段を使うことが多いですか。

**Q3** 調査では、鉄道やバスなどの公共交通の利用は低い割合にとどまりました。公共交通を使う人をもっと増やすにはどうすればよいか、考えてみましょう。

**Q2** 岡山県の調査で、外出した人の主な交通手段について、平日と休日でもっと多かった手段は何でしょうか。記事と円グラフから読み取りましょう。

平日

休日

過去の問題はこちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。